

日本感性工学会 感性商品研究部会 第55回研究会 フィールドワークのご案内



山梨県ワイナリー見学

山梨県は日本のワインの発祥の地であり、小さな家族経営のワイナリーから大規模なワイナリーまで約 80 社のワイナリーがワインを生産しています。今回は、研究会を山梨で開催する折角の機会ですので、研究会の一環としてワイナリーを訪問するフィールドワークを企画いたしました。

山梨県では、県固有の品種である甲州種（白ワイン用品種）の栽培が盛んです。甲州種で造られたワインは柑橘系のフルーティーな香りとさわやかな酸味が特徴で、和食との相性も良いとされています。2010 年には、ワインの国際的審査機関である OIV の登録品種となり、ラベルに「KOSHU」を記載して欧州に輸出することが可能となりました。

フィールドワークでは、26のワイナリーが集積する甲州市勝沼町にある「勝沼醸造株式会社」訪問します。勝沼醸造株式会社は、甲州種にこだわったワイン作りを行っているワイナリーの一つです。ワイナリー見学では、栽培の歴史、貯蔵や栽培方法の説明、テイスティングルームでの試飲に加え、甲州ワインの品質やブランド価値向上に対する取り組み、欧州戦略についてもお話いただく予定です。

ワイナリー見学の内容

- ▶ 栽培の歴史などの説明
- ▶ ワインセラーにて貯蔵についての説明
- ▶ ぶどう畑にて栽培方法の特徴などの説明
- ▶ テイスティングルームでの試飲



開催日

6月21日（日）

費用

2,000円（交通費、昼食代は各自別途負担）

スケジュール

- 10:30 甲府駅集合
- 10:39 甲府駅からJR中央本線にて勝沼ぶどう郷駅へ（費用各自負担、410円）
- 11:10 駅からタクシーに分乗してシャトー・メルシャンへ（費用各自負担、一人約500円）
- 11:30 シャトー・メルシャンカフェにて昼食（費用各自負担）
シャトー・メルシャン ワイン資料館や、ワインギャラリーの見学が可能です。
- 12:40 徒歩にて勝沼醸造へ（徒歩12分）
- 13:00 勝沼醸造ワイナリー見学（15:00終了）
- 15:10 勝沼醸造からタクシーに分乗して勝沼ぶどう郷駅へ（費用各自負担、一人約500円）

申し込み方法

6月12日（金）までに、第55回研究会のウェブサイト経由でお申し込みください。

その他

勝沼ぶどう郷駅などからの途中参加も可能です。この場合は、事前にご相談ください。

お問い合わせ先

木下雄一郎 (山梨大学) ykinoshita@yamanashi.ac.jp

ご参考 帰路は以下の電車のご利用が便利です。

＜東京方面＞

勝沼ぶどう郷駅 15:44発 かいじ116号 新宿行

＜関西方面＞

勝沼ぶどう郷駅 15:46発 普通小淵沢行 にて甲府まで
甲府駅 16:36発 ワイドビューふじかわ12号 静岡行